

**けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
第13回 企画・広報分科会
14年度活動報告・15年度活動計画(案)**

2015年5月19日
企画・広報分科会

○ 分科会の構成（敬称略）

（リーダー）

松本 幸則（パナソニック 全社CTO室 技術戦略部 技術戦略課 主幹）

（サブリーダー）

村田 稔樹（沖電気工業 研究開発センター スペシャリスト）

○ 分科会の活動方針

1. 創造系活動

- ・定期的な会員への研究ニーズ調査
- ・研究ニーズに基づき、新たな産学官連携研究開発テーマを検討

2. 促進系活動

- ・各研究開発テーマ間の交流促進
- ・シンポジウムや施設見学会等イベントの企画・実施による産学官連携促進
- ・産業振興や市民生活向上の観点からのアウトプット活用方策検討などの成果活用促進

3. 整備系活動

- ・研究開発整備要望など研究活動推進

1. 創造系活動

- ① WG活動費をWGに配分し、WG活動の支援を継続した。実験用機器の購入、会議費などに有効に活用していただいた。
- ② 9月に全会員向けに要望アンケートを実施。また、シンポジウム、セミナーの機会にアンケートを実施し、協議会活動への要望等を調査した。

2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2014「グローバルコミュニケーション計画がもたらす多言語音声翻訳システムの社会実装」を開催した（12月8日、グランフロント大阪、ナレッジシアター）。
- ② 総会での講演会を企画、実施した（山下京都府副知事と千原奈良先端大名誉教授によるご講演、5月29日）。
- ③ けいはんな情報通信フェア2014において、ブース展示をおこない、研究活動の紹介とアピールを実施（11月6－8日、けいはんなプラザ）。
- ④ セミナーの開催による情報提供、人材育成の実施（3月24日）。
- ⑤ ウェブページの充実により、協議会活動の一層のPR、普及・啓発活動につとめた。
- ⑥ AC・Netと共催でセミナーをおこなうなど、他団体（グローバルコミュニケーション開発推進協議会、超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム、次世代安心・安全ICTフォーラム等）と情報交換、交流をおこなった。また、AC・Netとの統合案も提案されたが、新たな連携団体である、関西ICT研究交流会（仮称）を設立することで調整が行われている。
- ⑦ セミナー、会合での活用など、地域の研究開発活動（うめきたナレッジキャピタル）との連携を進めた。
- ⑧ グローバルコミュニケーション準備WG、気象レーダー準備WGが活動を開始した。

3. 整備系活動

- ① 新世代通信網テストベッドJGN-Xなどのネットワーク施設整備を継続。
- ② オープンラボ施設の利用者は2社増加。

2014年度の活動報告②

	2014年									2015年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画・広報分科会	● 第12回 分科会 (3/10)												
創造系活動				WG活動支援 テーマ、ニーズ調査 ●									
促進系活動	総会企画準備 →						シンポジウム開催準備 →			セミナー開催準備 →			
	随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)												
整備系活動	けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用												
	JGN-Xなどのネットワーク施設整備・運用												
グローバルコミュニケーション準備WG										メンバー募集 ● WG会合 (1/29)			
										● WG会合 (2/26)			
										● WG会合 (3/30)			
気象レーダー準備WG				調査・準備 →						メンバー募集 →			
【協議会関連】	● 第14回 運営研究 部会 (4/25)		● 第13回 総会 (5/29)					● けいはんな 情報通信 フェア2014 (11/6-8)		● 協議会主催 シンポジウム (12/8)		● セミナー (3/24)	
				事務局打合せ、月1回程度開催									

けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2014 開催結果

○開催日時：2014年12月8日(月) 13:30~17:10

於：グランフロント大阪ナレッジシアター(大阪市北区)

○来場者数：180名(交流会は65名、アンケート回収数72)

○概要：

大勢の参加を得、グローバルコミュニケーション計画への関心の高さをうかがわせた。基調講演では、総務省が進めている、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けたグローバルコミュニケーション計画や多言語翻訳についての動向、今後の政策の方向についてお話しいただいた。特別講演では多言語音声翻訳技術に関するNICTの研究開発や社会実装に向けた取り組み、グローバルコミュニケーション開発推進協議会の設立などについてお話しいただいた。来場者からは、多言語翻訳技術が急速に進展している様子を感じた、実用化や社会実装への期待や意気込みを感じたなどの感想をいただき、関西における産学官連携による多言語翻訳の社会実装に向けたキックオフの機会となった。

○プログラム

テーマ：「グローバルコミュニケーション計画がもたらす多言語音声翻訳システムの社会実装」

◆開会挨拶 丸野 進 氏(パナソニック株式会社理事・技監、当協議会理事、運営・研究部会長)

◆基調講演「多言語音声翻訳システムの社会実装 ～グローバルコミュニケーション計画の推進～」

総務省大臣官房総括審議官 武井 俊幸 氏

◆特別講演「多言語音声翻訳技術」

(独)情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所副所長 隅田英一郎氏

◆特別講演「多言語音声翻訳システム社会実装のための官民連携の推進」

(独)情報通信研究機構 理事長 坂内 正夫 氏

◆デモ実演 多言語音声翻訳アプリ VoiceTra4U

◆休憩・展示見学 協議会の活動紹介など

◆ご案内「グローバルコミュニケーション準備WGの設置とメンバー募集について」

協議会グローバルコミュニケーション準備WG主査・

(公財)関西文化学術研究都市推進機構 副枝 裕司 氏

◆講演「関西のインバウンドポテンシャル」

(株)JTB西日本 地域交流ビジネス推進室 マネージャー 鳴尾 仁秀 氏

◆講演「京都府における外国人観光客の状況と多言語音声翻訳に向けて」

(公社)京都府観光連盟 事務局長 上岡 和弘 氏

◆講演「関経連の広域観光の取組と多言語音声翻訳技術への期待」

(公社)関西経済連合会 産業部長 野島 学 氏

◆閉会挨拶 奥 英之 氏(総務省近畿総合通信局長)

◆交流会



武井 俊幸 氏



坂内 正夫 氏



隅田 英一郎 氏



鳴尾 仁秀 氏



上岡 和弘 氏



野島 学 氏



デモ実演



各ワーキンググループ会員企業・
関連団体のポスター展示

ICT Advanced Seminar ～降雨災害の軽減に向けた気象レーダーの利活用～ 開催結果

- 日 時：2015年3月24日(火) 13:30～17:00
- 場 所：グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーB 10階
- 来場者数：71名(アンケート回収数33)
- 主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会、
総務省近畿総合通信局、情報通信技術研究会(AC・Net)

○概要：
ゲリラ豪雨、竜巻、突風などの災害の予防や軽減に向けて、気象レーダーの観測から得られるデータを、ソーシャルメディアによるデータとの組み合わせも含めて、いかに活用するのかをテーマに、第一線で研究・開発を進めている方々にその現状と今後について講演いただいた。気象レーダーWGのキックオフも兼ね、大勢の出席があり、ICTの活用による気象観測への応用事例がよくわかった、活用事例が具体的でわかりやすかったなどの感想をいただき、好評であった。



会場の様子

○プログラム

主催者挨拶

総務省近畿総合通信局長 奥 英之 氏

講演1

「ゲリラ豪雨の早期探知と危険性予測」
京都大学 防災研究所 教授 中北 英一 氏

講演2

「フェーズドアレイレーダーの防災への利活用」
大阪大学 大学院工学研究科 電気電子情報工学専攻 准教授
牛尾 知雄 氏

講演3

「ソーシャルxPANDAプロジェクト
～フェーズドアレイレーダーの今後の利活用について～」
情報通信研究機構 電磁波計測研究所
センシングシステム研究室 主任研究員 中川 勝広 氏



主催者挨拶：奥英之氏



講演1：中北英一氏



講演2：牛尾知雄氏

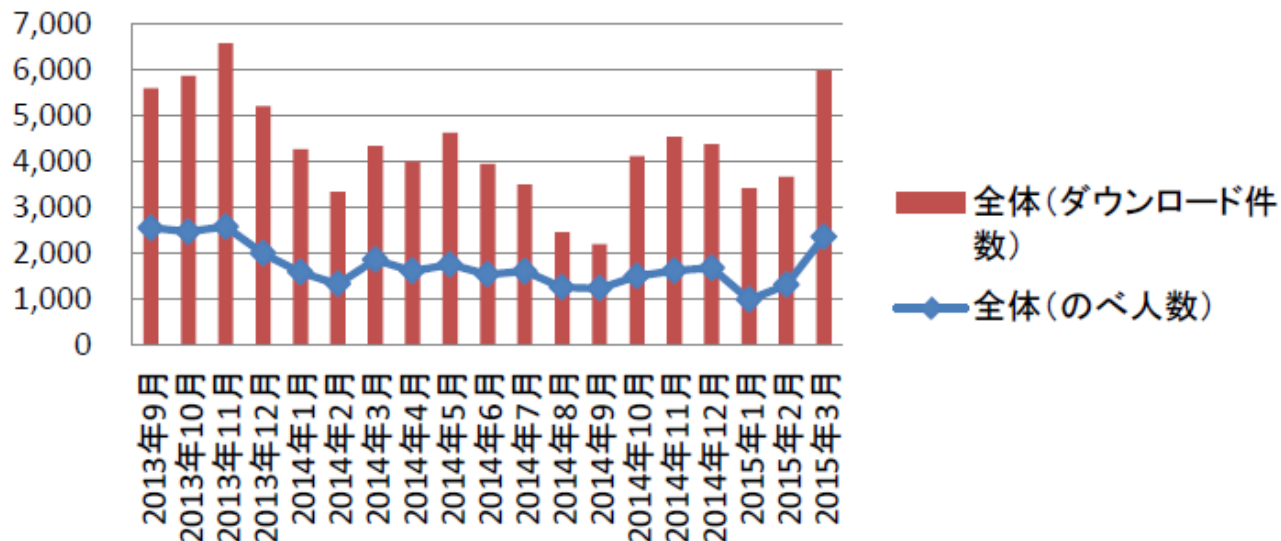


講演3：中川勝広氏

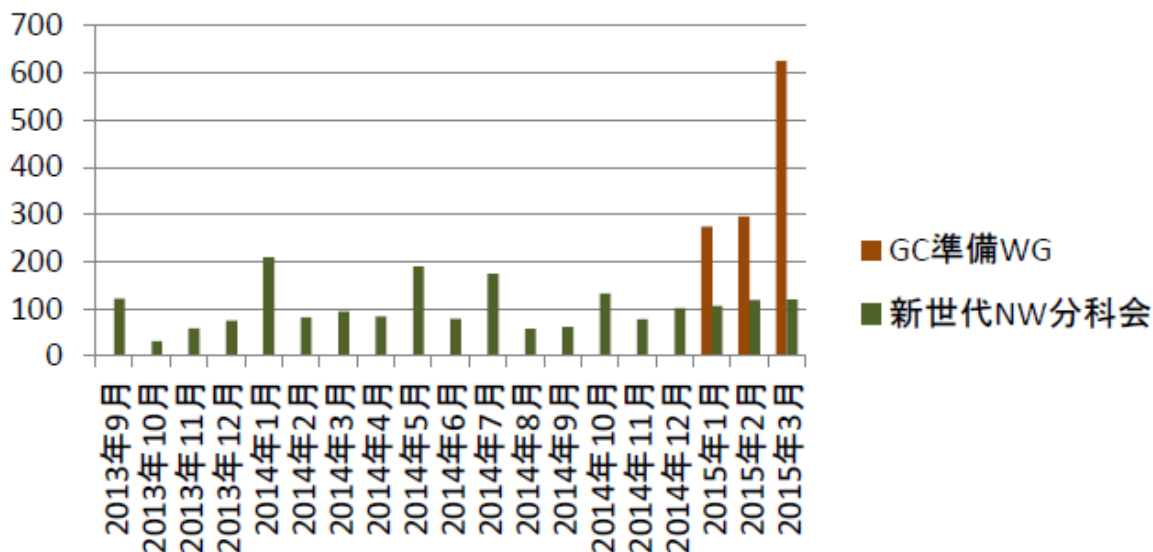


会場の様子

協議会Webサイト アクセス数



サイト別 ダウンロード件数



2015年度の活動計画①

1. 創造系活動

- ① WG活動費によるWG活動の支援を継続。
- ② 会員アンケート、ニーズ調査の実施。

2. 促進系活動

- ① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2015の開催（11月～12月予定）。
- ② 総会において、講演会を企画（6月12日予定）。
- ③ けいはんな情報通信フェア2015において、研究活動紹介、広報活動（10月29日～31日予定、けいはんなプラザ）。
- ④ セミナー、見学会などの開催による情報提供、人材育成の実施。関西ICT研究交流会（仮称）による開催となる見込み。
- ⑤ ウェブページを活用した協議会活動の一層のPRや広報・啓発活動の強化。
- ⑥ 他団体（AC・Net、グローバルコミュニケーション開発推進協議会、超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム、次世代安心・安全ICTフォーラム等）との交流・連携促進。
- ⑦ 地域の研究開発活動との連携強化（うめきたナレッジキャピタル等）。
- ⑧ 引き続き、グローバルコミュニケーション準備WGの活動をおこなう。

3. 整備系活動

- ① オープンラボ施設の充実に向けた活動の実施。
- ② オープンラボ施設の利用促進に向けたPR、広報の実施。

2015年度の活動計画②

	2015年									2016年								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月					
企画・広報分科会	● 第13回 分科会 (4/17)									● 第14回 分科会 (3~4月)								
創造系活動				WG活動支援														
				ニーズ調査、テーマ検討、体制整備														
促進系活動	→ 総会企画準備			→ セミナー開催準備			→ シンポジウム 開催準備			→ セミナー開催準備								
				随時情報発信(Webサイト&イベント案内メール送付)														
整備系活動				けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用														
				JGN-Xなどのネットワーク施設整備・運用														
グローバルコミュニケーション準備WG	● WG会合			● WG会合			● WG会合			メンバー募集								
【協議会関連】	● 第15回 運営研究 部会 (5/19)			● 第14回 総会 (6/12)			● セミナー (9月頃)			● けいはんな 情報通信 フェア2015 (10/29-31)			● 協議会主催 シンポジウム (11~12月)		● セミナー (2月頃)		● 第16回 運営研究 部会 (4月頃)	
				事務局打合せ、月1回程度開催														

関西の協議会間の連携を深め、相乗効果を発揮

○目的

- ・関西ICT研究交流会(仮称)では、異分野・異業種の研究者・事業者などが参集する場を提供し、情報交換・交流のための講演会・シンポジウム・セミナー・チュートリアル・見学会等を積極的に開催し、参加者間の情報交換を促進する。
- ・NICTの技術をコアにして国から大型予算を獲得し、産業界との共同研究や委託研究を推進し、産学官の連携を強化する。
- ・上記の活動を通じ、関西地区から世界に向けてのイノベーションを創出する。

○アプローチ

- ・AC・Net、けいはんなオープンラボ研究推進協議会は、関西ICT研究交流会に事務局機能を一部移管することとする。
- ・NICT脳情報通信融合研究センターが設立する予定の協議会とも連携する。
- ・セミナー等を積極的に開催し、会員相互間の情報交換・交流を促す。
- ・セミナーの数が増える、対象分野が広がる等、会員の参加機会が増す。

グローバルコミュニケーション計画及び多言語音声翻訳技術に関する情報の収集・意見交換や関西での多言語音声翻訳ビジネスを定着させるために必要なサービスの具体的な検討などをおこなった。WG会合を1/29、2/26、3/30に実施した。今後も検討を重ね、グローバルコミュニケーション計画にコミットしていく。

メンバーへの情報提供や相互理解のため、ウェブサイトを開設した。
(右図は表紙ページ)



The screenshot shows the homepage of the Global Communication Preparation Working Group. At the top, there is a navigation bar with the title 'グローバルコミュニケーション準備ワーキンググループ' and a 'お問い合わせ' (Contact Us) button. Below the navigation bar is a large banner image of a modern building complex. The main content area is divided into several sections: '活動情報' (Activity Information) with links to '準備WG会合' and '入会方法'; '関連リンク' (Related Links) with a link to the 'GCP協議会'; and 'グローバルコミュニケーション準備ワーキンググループとは' (What is the Global Communication Preparation Working Group?), which contains text about the group's purpose and goals. A '最新情報&更新情報' (Latest Information & Update Information) section at the bottom lists recent activities, such as the opening of a resource corner and the second meeting.

グローバルコミュニケーション準備ワーキンググループ ☑ お問い合わせ

ホーム 活動概要 構成メンバー 準備WG会合 資料(メンバー専用) 入会方法 お問い合わせ

活動情報

[準備WG会合](#)
[入会方法](#)

関連リンク

[グローバルコミュニケーション開発推進協議会\(GCP協議会\)](#)

[けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会](#)

[詳細\(活動概要のページへ\)](#)

グローバルコミュニケーション準備ワーキンググループとは

総務省が提唱する「グローバルコミュニケーション計画」において、NICTの「多言語音声翻訳技術」を活用して、関西における実証実験をめざして、関西での観光分野の多言語音声翻訳社会実装モデルをハード・ソフト両面から研究・提案する活動につなげていくことを目的とします。

このグローバルコミュニケーション準備WGは、[けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会](#)の傘下に設置された組織であり、総務省の『グローバルコミュニケーション計画』の推進に資することを目的として2014年12月17日に設立された[グローバルコミュニケーション開発推進協議会](#)とも緊密に連携しながら、多言語音声翻訳技術を活かした実証実験及び社会実装に関する情報の収集及び意見交換の場を提供します。

最新情報&更新情報

2015.3.9 [資料コーナーを開設しました。](#)(準備WGメンバーの方に限り閲覧が可能です。)

2015.3.3 [第2回目の準備WG会合を開催しました。](#)

○背景

フェーズドアレイレーダーが大阪大学、東芝、NICTの共同で開発され、2012年に吹田に、2013年に神戸に設置された。このレーダーは近畿中央部における降雨域を3次元構造として、高い時間分解能でとらえることができ、降雨災害の予防、軽減に役立つものである。

○目的

本WGは、このフェーズドアレイレーダーのデータの利活用、普及、また、啓発活動を通じ、近畿圏におけるゲリラ豪雨、竜巻、突風などの気象災害の軽減に貢献することを目指して設立し、近畿圏の想定しうるユーザを中心に構成する。

○2014年度の活動

3/24のセミナーをキックオフとし、メンバーを募集中。

○2015年度の活動

準備WGからWGに移行し、ユニバーサルコミュニケーション分科会所属とし、以下の活動を予定。

- ・専門家による講演会
- ・データの見方や解析の勉強会
- ・会員間の連携促進、交流、情報交換、コミュニティビルディング

